



## 中期計画（2024～2028）の概要

### 【目指すべき方向性について】

本法人の特徴を、環境に適応し更に磨きをかけながら、人を育てることで、地域を持続的に支える魅力的な学校法人グループとして存在感を高めること。

そして、園児、生徒、学生、教職員をはじめ関係者の本法人の教育や学習・就業環境に対する満足度が向上することを旨とする。

### Moridai Vision 人と未来を支える

本法人が受け入れる園児、高校生、短大・大学生が、大きく成長し、かつ地域社会が持続的に発展する未来を支える存在であり続けることを目指します。

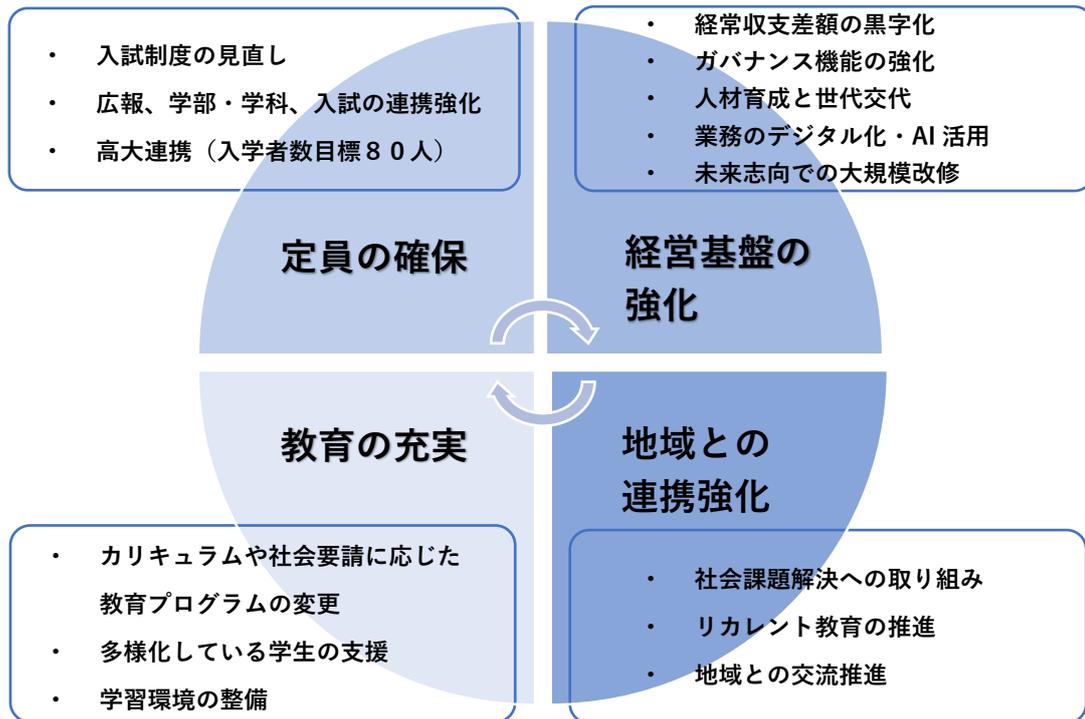
### 【ビジョン実現のために、中期計画期間に対処すべきこと】

- 1 本法人の特徴、魅力を伝え定員の入学者を確保することが最大の課題である。
- 2 地域から多様な人材を受け入れ、幼稚園、高校、教育、食、文化・教養の教育範囲を基本として、デジタル・探求学習世代にとって修学者本位で満足度が高い教育の充実を図り、大きく育てて地域社会に送り出すこと。建学の精神や本法人の特徴を踏まえた特色ある教育プログラムの開発など他の大学との差別化を図ること。
- 3 地域社会と連携し地域社会の課題解決に繋がる問題解決型学習（PBL）を通じて学生が実践力を身に付け、かつ魅力ある地域作りに貢献し続けることで地域を支え、地域での存在感を高めること。
- 4 いかに環境が変化しようとも、地域社会における学びの場（対話と共創の場）として存在し続けること。
- 5 安全・安心な設備に加え新しい教育技術を取り入れるための設備投資を行うこと。
- 6 それらを果たし続けるための財務基盤（経常収支差額の黒字化は必須）、人材を維持・強化し続けること。具体的には、中計期間中に収支均衡以上の財務改善を行い長期的な経営環境の変化に適応可能な財務基盤を確立する必要がある。また、職員の年齢構成が二極化していることを踏まえ、計画的なスキル移転とバランスの取れた職員構成への改善と育成が必要である。
- 7 令和5年度に実施された認証評価の結果を本計画に織りこむこと。

定員の確保と経営基盤の強化を図りつつ、教育の充実と地域との連携を強化することで、  
地域社会を支える人材を育成すること。



## 【重点項目】



教職員が現状と計画に対する理解を深め、行動すること、  
そして実行状況を統制することとします。

## 【策定の背景について】

### ➤基本理念

- |       |  |
|-------|--|
| 大学・短大 | キリスト教精神に基づき、学校教育を行い、有為な人材を育成すること。                    |
| 附属高校  | 本学園はキリスト教主義に基づいて教育を行い、愛と奉仕の精神を体した人格を形成することを建学の精神とする。 |
| 附属幼稚園 | キリスト教精神に基づき健康で明るい心の豊かな子供を育てる。                        |

### ➤法人の特徴

- 存立の基盤は、岩手県にあること。地域に根差した学校法人であること。
- 幼稚園、高校、教育、食、文化・教養を教育範囲とした大学・短大を擁し岩手県内及び北東北において独自性のある小規模学校法人であること。
- 地域社会からの入学者が多く、かつ資格や教養を身に着け地域社会に育ってゆく学生が多いこと。
- 園児、生徒、学生と教師との距離が近く面倒見の良い教育環境にあること。



## ➤環境・現状認識

### ●人口減少等による入園・入学対象者数の減少

日本が急激な出生率の低下と高齢化が進行する中で、岩手県もここ10年間で出生者数が約30%減少している。また、足元では地方都市からの若者の流出が顕著で、今後も大学・短大の新入生募集にも影響が出る可能性が高い。

### ●競争激化

受験生数の減少と増加した大学定員数により、生存競争が益々激化し今後は淘汰・再編の時代に入る。

### ●技術革新と society 5.0

技術革新が進み教育業界にもデジタル変革の波が押し寄せており、ICT環境を整備し生徒・学生の力を最大限に引き出し、個別に最適化された学びを実現させていくことが重要とされている。また、学生のリテラシーを企業等で求められる水準以上に高めることも重要となる。

### ●地域社会との連携

人口減少により地域の課題が今後益々顕在化していく中で、地域産業との連携による産学協力や、地域社会との共同プロジェクトなどを推進することが、学生の実践力を高め、また地域社会の課題解決に貢献することになる。

### ●インバウンドの復活、多様な価値観への適応

コロナウイルスの影響が治まり、地方でもインバウンド効果が高まり、国際交流人材の活躍の機会が増える可能性がある。また、国際的交流人口の増加により多様な価値観を持つ人材育成が一層重要となる。

### ●学生の多様化

入学者の特性が一段と多様化することが予想される中で、入学から卒業までの学生支援体制の強化が必要となる。

### ●定員割れの状況

大学・短大で定員割れの状況となっている。

### ●財務改善

令和5年度は経常収支差額がマイナスとなる見込であることから収支バランスの改善が経営の安定に不可欠な状況にある。

### ●職員の育成

長期的に本法人の経営を支える職員の年齢等のバランスのとれた計画的育成が、変化に適応し安定した経営のためには重要である。

以上